

三豊市第2次総合計画パブリックコメントにおける提出意見及び市回答

番号	意見	回答
1	<p>【人口確保に向けた具体的取り組みについて】</p> <p>人口減少時代の中、10年後に目標を達成するための具体的取り組み方針が示されていない。</p>	<p>各事業における人口確保に対する直接的効果を数値化することは困難であり、すべての取り組みは人口減少対策として複合的に実施されるものであることから、各事業の取り組み内容や目標を明確にすることで、人口目標達成に向けて取り組んでいくものと考えています。</p>
2	<p>【本計画における子育て支援・移住促進・雇用に関する施策について】</p> <p>人口減少抑制に向けて子育て支援、移住促進、雇用に関する施策が不足しているのではないか。</p>	<p>子育て支援については、これまで進めてきた施策を継続するとともに、子育て拠点施設や包括支援センターの設置など、新たな取り組みによって子育て世代に選ばれるまちづくりを進めていきます。</p> <p>移住促進については、さらに地域外から人を呼び込み、受け入れるために、住まい・雇用・教育等の様々な場面で包括的な支援を行うとともに、これまでの取り組みの間口を広く構え直すことで、充実を図っていきます。</p> <p>雇用については、性別や年齢、国籍にこだわらない多様な働き手が活躍し、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方を選択できる社会の実現をめざし、労働環境の整備や就労支援、事業継承の支援等に取り組めます。</p>
3	<p>【本計画の印象について】</p> <p>一般的な計画になっており、特徴がないように感じる。</p> <p>地域外から人を呼び込んでくるような政策が必要でないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、地域外からの人材を呼び込み、人口確保や地域活性化に取り組む必要があることから、「基本方針④市民が可能性を切り開くまちづくり」において、様々な経験を生かし、本市でチャレンジする人を積極的に地域外から受け入れる取り組みを追記します。</p>

三豊市第2次総合計画パブリックコメントにおける提出意見及び市回答

番号	意見	回答
4	<p>【本計画の印象について】</p> <p>この総合計画は、各施策ごとに「目標」「具体的な取り組み」「関連計画」が示されていて、とても分かりやすい。 今まで、市民にとって不明瞭であった計画どうしの関連性が「関連計画」として示されたことは、画期的である。 今後も、分かりやすい計画書づくりを続けてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今後は、計画が広く浸透し、まちづくりへの理解を深めるためにも、本計画と実際の暮らしの関連性もわかりやすく伝えていきたいと考えています。</p>
5	<p>【計画推進に向けた行政組の執行体制について】</p> <p>本市行政組織条例における組織構成では、本計画の「みとよのまちづくり（体系図）」に沿った執行体制となっていないため、目標達成が不安視される。 適切な執行体制の確保を求める。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、組織を越えた横断的取り組みが必要な場合も考えられるため、組織間で情報を共有しながら協力・連携を図っていくとともに、適切かつ効率的な事業実施に向けて、執行体制の適宜見直しや業務の振り分けを行っていきます。</p>
6	<p>【素案12頁の表現について】</p> <p>「市民の皆さんと一丸となり、「総力戦で」挑み続けるほかありません。」という表現は、「全体主義思想」を連想させ「6頁(5)自分らしく生きる」と完全に矛盾している。政治・政策の現代的目的は、誰もが無理をせずとも健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう社会を安定させることであることから、表現を修正してはどうか。</p>	<p>本計画における「総力戦」とは、全体の利益が個人の利益より優先される全体主義を意味するものではありません。 本市には、各地域が持つ魅力や歴史文化があり、それを生かしながらひとつのまちをつくっていくことと、行政のみならず、市民・民間企業・地域組織が知恵や経験を持ち寄り、協力・連携のもとまちづくりを行っていくことを「総力戦」としています。 上記について十分に伝え、誤解を招くことのないよう努めます。</p>

三豊市第2次総合計画パブリックコメントにおける提出意見及び市回答

番号	意見	回答
7	<p>【(素案113頁) まちづくりポイント(成果指標)について】</p> <p>生活保護の開始件数を指標に設定することは、日本国憲法第25条(健康で文化的な最低限度の生活を営む権利)や生活保護法における権利の阻害にならないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、生活保護の開始件数を指標として設定することは、権利を阻害するおそれがあるため、指標から削除します。</p> <p>あわせて設定している「生活困窮者自立支援法に基づく情報提供・相談件数」に加え、「生活困窮者自立支援プラン策定件数」を指標とし、支援を必要とする人の早期発見と保護前後のフォローに努めます。</p>
8	<p>【(素案162頁) の表現について】</p> <p>「来庁者用の環境整備も行い」とあるが、高位平準化した行政サービスを提供するのに「来庁者」に限定する必要があるのか。</p>	<p>ご指摘のとおり、ここではすべての方が安定的かつ高水準の行政サービスを受けることができるようになることをめざしています。</p> <p>「来庁者用の環境整備を行い、円滑な市民対応が可能になるよう対策を講じます。」 →「誰もが利用しやすいサービスの提供に向けて、環境整備を行います。」と修正します。</p>
9	<p>【外国人の受け入れについて】</p> <p>外国人の受け入れにあたり、教育、労働、治安などの問題に対する具体策の検討が必要ではないか。</p> <p>人口減少の中、外国人の増加が予想されるため、多文化共生に向けた施策を加えてはどうか。</p>	<p>外国人を含め、多様な文化を持つ人たちがともに働き、ともに学び、ともに暮らすために、相互理解により認め合い、誰もが生活しやすい環境の整備が求められています。</p> <p>したがって、「基本方針①市民が可能性を切り開くまちづくり」において、文化的な交流のみならず、生活における全ての場面において、多文化が共生できる社会の実現に向けた取り組みを推進する旨を追記します。</p>

三豊市第2次総合計画パブリックコメントにおける提出意見及び市回答

番号	意見	回答
10	<p>【ランドデザインについて】</p> <p>計画内には、ランドデザインが描かれていないので、もう少し具体的なゾーニングプランを入れるべきでないか。</p>	<p>今後、本市では、まちづくりにおける総合的なコンセプトや土地利用を明らかにするものとしてランドデザインを策定することとなっており、その計画に基づく各施策のゾーニングにより、地域特性に応じて集中的に事業投資を行うべきエリアを決定します。</p> <p>各施策をより効果的に実施するために、毎年度の事業計画や個別計画の策定により、ゾーニングを含めた具体的な事業方針や目標について明らかにします。</p>
11	<p>【外部人材の積極的な登用について】</p> <p>人口減少対策と地域活力において外部からの人材を積極的に入れていく施策、政策をもっと出すべきではないか。</p>	<p><回答3と同じ></p>
12	<p>【市民が可能性を切り開くまちづくりについて】</p> <p>市民参加型の会議の開催やワークショップの開催などを加えてはどうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、市民の皆さんとともにまちづくりを行ううえで、市民ニーズを的確に捉える必要があるため、「基本方針②効率的で健全な行財政運営 施策④情報の公開と管理」において、市民会議やワークショップ等、広く意見を伺う機会を持つ旨を追記します。</p>

三豊市第2次総合計画パブリックコメントにおける提出意見及び市回答

番号	意見	回答
13	<p>【交流人口の確保について】</p> <p>交流人口の確保に向けて観光振興に力を入れるべきだが、民間活力つまり地域商社に任せてはどうか。</p>	<p>国内外から観光地としての注目度が高まりを見せる中、本市のファンづくりにおいて観光振興は注力すべき施策のひとつです。</p> <p>今後は、市内北部エリアを中心に、統一コンセプトに基づき、多様な民間活力が活躍する観光地づくりを進めたいと考えています。</p>
14	<p>【本計画の印象について】</p> <p>本計画は、まちづくりにおける行政の役割を明記した資料になっている。</p> <p>また、広範囲を網羅した計画となっているが、行政の人員・財力で実現できるのか。</p>	<p>ご指摘のとおり、本計画素案は、行政が中心となった表現になっています。</p> <p>本計画推進にあたっては、行政のみならず本市に関わるすべての人が主体的に取り組む必要があります。</p> <p>わかりやすい市民向けリーフレット等を通じて、誰もがまちづくりの一員であるという意識を醸成するとともに行動に結び付け、市民、企業、地域組織等とともにまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
15	<p>【これまでの三豊市のまちづくりについて】</p> <p>三豊市新総合計画に基づくまちづくりの実績と評価、さらに残された課題を明らかにし、市民や行政が共有する必要がある。</p>	<p>ご指摘のとおり、「三豊市新総合計画」に基づくまちづくりによる成果と課題を明らかにすることは、大変重要であると認識しています。</p> <p>本計画の策定にあたり、これまでのまちづくりを振り返り、評価と課題抽出を行っておりますので、本計画の付属資料として公開し、皆さんとの共有を図る予定としています。</p>

三豊市第2次総合計画パブリックコメントにおける提出意見及び市回答

番号	意見	回答
16	<p>【本市における高齢化と人口減少について】</p> <p>本市の最大の課題は、高齢化と人口減少である。 素案10頁「年齢3区分別人口と高齢化率の推移と推計」グラフと本計画年度が一致していないのはなぜか。 また、63,500人+の人口目標からすると、現人口を維持しないと現在の行政を維持できないということか。 人口構造の予測に基づく過去から将来に向けた財政見通しや財務諸表等を明示してほしい。</p>	<p>素案9・10頁グラフは、国勢調査における人口データに基づき作成しています。この人口データは、居住実態に最も近い数字であることから、自治体の政策立案において活用されています。国勢調査は、5年ごとに実施されているため、本計画期間とはズレが生じています。</p> <p>人口が減少し、少子高齢化により人口構造が変化することで、これまで平準的に提供されていたサービスが行えなくなったり、サービス水準が低下したりすることが懸念されています。</p> <p>したがって、将来的な財政の見通し等については、人口推移が与える影響も大きいとして、長期的にまちづくりを行う上で慎重に把握し、財政状況の理解促進に向け、分かりやすく皆さんにお伝えしたいと考えています。</p>
17	<p>【新たな施策の提案について】</p> <p>高齢者が活躍するまち 健康・文化に特化したまち</p>	<p>関係部署へ報告し、今後の施策立案において参考にさせていただきます。</p>